

美しい浜プロジェクト 始動

本町の海岸には、年間を通して大量の海洋ごみが漂着します。特に冬季はごみの量が多く、近年は国内外から流れてくるプラスチックごみが増加し問題となっています。

そこで、町では「美しい浜プロジェクト」として、町が誇る「美しい浜」を守るためのさまざまな事業を展開することとしました。

6月13日には、美しい浜プロジェクトの第1弾として水晶浜等で清掃活動を実施しました。この清掃活動は、「クリーンアップふくい大作戦in美浜」や「クリーン・ザ・シーキャンペーン」と同時に開催し、町外に住みながらも美浜町を応援して下さる「みはま応援クルー」の方々や町民ら、合わせて約140名が参加しました。(関連第21頁)



↑砂をふるいにかけてマイクロプラスチックを回収する参加者たち
↑ロープを回収する参加者たち
↑漁網ロープ等を回収するホイールローダー

美浜中学校の生徒も清掃活動を実施

6月2日には、美浜中学校の1年生約70名が、水晶浜の清掃活動を実施しました。

これは、ふるさと学習の一環として行われたもので、海岸の清掃活動を通して、海洋ごみへの関心を持つこと等を目的に行われました。



↑海藻を回収する生徒たち
↑木くずを回収する生徒たち

美しい浜プロジェクトでは、今後以下の事業を展開していきます。

- ① 海岸清掃等のイベント開催
- ② 清掃活動省力化のための海岸清掃機械の実証・導入
- ③ さまざまな企業との連携の検討
- ④ 海洋ごみ問題の周知啓発・理解促進
- ⑤ その他、美しい浜を守っていくために必要な活動



美しい浜プロジェクト

Beautiful beach Project

※お問い合わせ先

ごみ問題に関すること	町住民環境課 (担当・志賀)	☎ 32-6703
海岸清掃に関すること	町観光戦略課 (担当・金田)	☎ 32-6705
みはま応援クルーに関すること	町まちづくり推進課 移住・定住推進室 (担当・中瀬)	☎ 32-6701



魚見莉央さん
木下詩音さん
福井県国体ボートチームの皆さん
号砲を鳴らす戸嶋町長

5月29日から30日にかけて、東京2020オリンピック聖火リレーが県内で開催されました。美浜町では、29日に町役場から美浜中学校までのコースで聖火リレーが行われ、若狭町から託された聖火を9組のランナーがリレーして、敦賀市へとつなぎました。

沿道には、57年ぶりの聖火リレーを一目見ようと、多くの観客が訪れ、ランナーたちに声援を送っていました。

聖火リレーには、スポンサーのランナー6名に加え、美浜町枠のランナーとして、町内在住の木下詩音さん(河原市)や魚見莉央さん(久々子)、福井県で唯一の団体ランナーである福井県国体ボートチームが参加しました。

参加したランナーたちは、応援に駆け付けた沿道の観客に手を振りながらコースを走っていました。

Runner Interview



スロット1を走った

木下 詩音 さん(河原市)

自分を育ててくれた美浜町への恩返しのために、聖火ランナーに応募しました。

普段走っているコースでしたが、いつもとは全く違った景色に見えました。

応援に来てくださった方々に感謝の気持ちを伝えたいと思います。

スロット2を走った

福井県国体ボートチームの皆さん

(写真左から馬野彩加さん、仲澤春香さん、武長風那さん、瀬戸淳也さん、白井里咲さん、山口遥平さん)

沿道の応援が思ったよりも多かったので、とにかく緊張しました。改めて、多くの方々に応援されているということを実感しました。

オリンピックは、みんなが笑顔になる素晴らしい大会だと思います。

スロット9を走った

魚見 莉央 さん(久々子)

聖火リレーが1年延期されましたが、無事開催されてよかったです。日本中が注目するということもあり、とても緊張しましたが、貴重な体験ができました。

オリンピックは、みんなが笑顔になる素晴らしい大会だと思います。

※お問い合わせ先 町教育委員会事務局 (担当・荒木) ☎ 32-6708

災害時の避難情報が変わりました

5月20日に改正災害対策基本法が施行されたことに伴い、避難情報の名称が変更となりました。これまでの避難情報は、避難するタイミングがわかりにくいことや名称が長い等の課題があり、今回の変更でそれらの改善が図られました。

変更点は、以下のとおりです。

- 警戒レベル3 「避難準備・高齢者等避難開始」の名称を「高齢者等避難」に見直し
- 警戒レベル4 「避難勧告」と「避難指示(緊急)」を「避難指示」に一本化
- 警戒レベル5 「災害発生情報」を「緊急安全確保」に変更

警戒レベル	新たな避難情報等	住民がとるべき行動
5	緊急安全確保※1	命の危険、直ちに安全確保 この段階で外に出て避難することは、危険な場合があります。逃げ遅れてしまった場合は、冷静に状況を観察し、建物の上階等で、身の安全を確保しましょう。
～<<警戒レベル4までに必ず避難!>>～		
4	避難指示※2	危険な場所から全員避難 ・防災アプリ等で避難指示の発令を受信する ・安全なところへ移動を始める
3	高齢者等避難※3	危険な場所から高齢者等は避難 ・防災アプリ等で高齢者等避難の発令を受信する ・普段の行動を見合わせる ・安全なところへ移動を始める(高齢者や避難先までの移動に時間がかかる方)
2	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップで避難場所や避難の方法を確認する ・避難するときの持ち出し品を確認する ・携帯電話、スマートフォンを充電する ・川の水位や雨量を調べ始める
1	早期注意情報(気象庁)	災害への心構えを高める ・テレビやインターネット等で今後の情報を調べる ・家の周りに風で飛ばされるようなものがないか確認する

※1 町が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

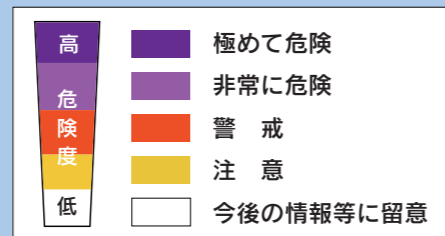
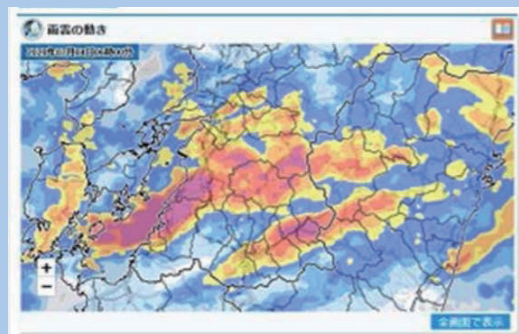
※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等(高齢の方や体の不自由な方、小さな子どもがおられる方)以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ、避難の準備をする等して、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

キキクルをご存じですか

キキクル(危険度分布)とは、大雨による災害発生の危険度を地図上に表示した情報で、気象庁のホームページで提供しています。

キキクルでは、危険度を5段階に色分けして表示しており、どの場所で危険度が高まっているのか一目で確認することができます。普段からご利用いただき、いざというときには町から発令される避難指示等の情報と共にご活用ください。



詳細については、こちらをご覧ください。



キキクル 検索

※お問い合わせ先 町工ネルギー政策課 防災・原子力対策室(担当・田村) ☎ 32-6716

マイナンバーカードが健康保険証として 利用できるようになります

令和3年10月(予定)から、全国の医療機関や薬局において、マイナンバーカードが健康保険証として利用できるようになります。(従来の健康保険証でもこれまで通り受診可能)

運用開始後は、カードリーダーが設置されている医療機関等で、健康保険証を提示しなくても、マイナンバーカードを医療機関等に設置されたカードリーダーにかざすだけで、受診できるようになります。

この機会に、ぜひマイナンバーカードを取得しましょう。

健康保険証として利用するメリット

①健康保険証として継続して使用可能

就職や転職、引越しをしてもマイナンバーカードを健康保険証として継続して使用できます。ただし、国民健康保険への加入・喪失の手続きは引き続き必要です。

②医療保険の資格確認がスムーズに

医療機関等の受付でカードリーダーにかざすことで、スムーズに医療保険の資格確認ができ、時間が短縮されます。

③窓口への書類の持参が不要に

オンラインによる資格確認により、高額医療費の限度額認定証の持参が不要になります。

④健康管理や医療情報を管理

マイナポータル(※)で、自分の薬剤情報や特定健診情報を確認できるようになります。また、患者同意のもと、医師や歯科医師がオンラインで薬剤情報や特定健診情報を、薬剤師が薬剤情報を確認できる等、より多くの情報をもとに診察や服薬管理が可能となります。

⑤医療費控除も便利に

マイナポータルからご自身の医療費情報を確認できるようになります。

※マイナポータル…政府が運営するオンラインサービスで、子育てや介護をはじめとする行政手続の検索やオンライン申請がワンストップで、行政機関からのお知らせを確認できる自分専用のサイト

利用には事前に登録が必要です

マイナンバーカードを健康保険証として利用するためには、事前の登録(初回登録)が必要です。登録には、次の2種類の方法があります。

スマートフォンやパソコンからマイナポータルで申し込む

- ①マイナポータルへアクセスする。
- ②「マイナンバーカードの健康保険証利用申込」をクリックする。
- ③利用規約等を確認して、同意する。
- ④数字4桁の暗証番号を入力し、マイナンバーカードを読み取る。

～必要なもの～

- 申込者本人のマイナンバーカードと利用者証明用パスワード(数字4桁)
- マイナンバーカード読取対応のスマートフォン(パソコンとICカードリーダーでも可)
- 「マイナポータルアプリ」のインストール

セブン銀行ATMまたは町住民環境課窓口で申し込む

～必要なもの～

- 申込者本人のマイナンバーカードと利用者証明用パスワード(数字4桁)

■ iPhone の方は



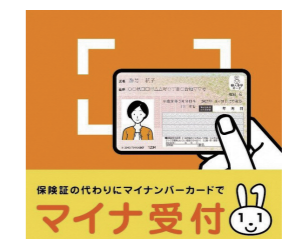
■ Android の方は



利用可能な医療機関等

右記のステッカーやポスターが張ってある医療機関等で使えるようになります。

※利用できる医療機関や薬局については、厚生労働省のホームページで公開しています。







↑ステッカー



↑ポスター

※お問い合わせ先 町住民環境課(担当・石井) ☎ 32-6703 / 町総務課(担当・森下) ☎ 32-6700

展示・学習レベルのプロジェクト概要

①太陽光発電や蓄電池、EV等を導入、活用した低炭素、非常用対策、プロモーション推進プロジェクト	
<p>美浜町エネルギー環境教育体験館きいばす 展示設備整備事業</p> <p>【概要】 きいばすにエネルギーや環境に関する理解促進を図るための設備を導入し、これらの設備を活用した体験プログラムの充実を図ります。</p> <p>【事業実績及び今後の取り組み】 平成29年度に追尾式太陽光発電設備を整備し、令和2年度には、V2H(※)や蓄電池、館内の電気のやり取りを表示したグラフや、きいばすの姿を今後の日本の姿に見立てたスライドやアニメーションを整備しました。</p> <p>今後は「2050年温室効果ガス排出量実質ゼロ」目標の背景、達成方法や課題等、エネルギー環境教育の分野において取り組むべきテーマに沿った、最先端のエネルギー学習プログラムを提供します。</p>	<p>太陽光LED灯設置による交流拠点施設 魅力向上事業</p> <p>【概要】 町内の交流拠点施設等に太陽光LED街路灯を設置して、町内外に向けて再生可能エネルギーの認知や理解促進を図ります。</p> <p>【事業実績及び今後の取り組み】 平成29年度に総合運動公園や町道久々子・東レイク線等に整備を行いました。</p> <p>今後は、効果的に再生可能エネルギーの理解促進が図られる場所の選定及び整備の検討を行います。</p>
  	

※V2H(Vehicle to Home)・・・EVに蓄えられた電力を家庭用で使えるように取り出せる充放電施設

⑬町の資源を活用した新燃料等製造・新技術開発研究プロジェクト
<p>周辺自治体と連携した水素等利活用実証事業</p> <p>【概要】 二酸化炭素を排出しない新エネルギーの利活用を検討します。再生可能エネルギーの発電設備の余剰電力を利用した水素製造により、水素自動車等の活用を図ります。</p> <p>【今後の取り組み】 町内だけでは水素需要が少ないため、県や周辺市町と連携して事業を進められるよう調査や調整を行います。</p>

⑤美浜町内エネルギー平準化プロジェクト
<p>町有施設や電気自動車等を活用したVPP実証事業</p> <p>【概要】 町内の再生可能エネルギー設備の有効活用を進め、エネルギーの地産地消や地域防災性の強化を図るため、地域内におけるエネルギーの融通やピークカット等に向けたVPPシステムの構築を目指します。</p> <p>【今後の取り組み】 町内交通の電動化促進の一環として、町の公用車の電動化に向けた取り組みを進めます。また、県が現在実施しているEVのVPP実証のノウハウの内製化を図ります。</p>

⑭未来のエネルギー・環境分野を担う人材育成プロジェクト
<p>「きいばす」を中心とした体験型教育プログラムによる人材育成</p> <p>【概要】 町内外で活躍するエネルギーや環境分野の人材育成を図るとともに、町内に点在するエネルギー関連施設を有効活用させるため、きいばすを中心とした町内のエネルギー関連施設をつなぐ体験型教育プログラムを行います。</p> <p>【今後の取り組み】 エネルギー・環境分野に対する興味や関心の向上が図られるよう、随時カリキュラムを更新しながら体験プログラムの提供を行います。</p>

シリーズ エネルギービジョン

先月号では、美浜町エネルギービジョン及び事業化計画の改定についてお知らせしました。

今月号からは、ビジョンで掲げた14のプロジェクトを、3つの目的レベルごとに分けて紹介していきます。今月号は、**展示・学習レベル**のプロジェクト(下表青色部分)を紹介します。



※お問い合わせ先 町エネルギー政策課(担当・山野) ☎32-6716

■プロジェクトの目的レベル
エネルギービジョンでは、プロジェクト・事業の目的に応じて3つのレベルを設定しています。

①**展示・学習レベル**
事業性は低いが、普及啓発や技術開発等、町の将来のために投資すべきもの

②**地域振興レベル**
地域振興のために町として推進していくべきもの

③**商業レベル**
技術がある程度確立されており、条件が揃えば採算の取れる事業として成立するもの

3つのレベルの中で、展示・学習レベルのプロジェクトでは、町民の再生可能エネルギーの理解促進を図ることを目的として、太陽光発電設備やEV(電気自動車)等の再生可能エネルギー関連設備の整備を行います。

また、10年後を見据えた新燃料・新技術の開発、30年後を見据えた未来のエネルギー・環境分野を担う人材育成等も行います。

(詳細は次頁)

プロジェクト名	事業内容	目的レベル
①太陽光発電や蓄電池、EV等を導入、活用した低炭素、非常用対策、プロモーション推進プロジェクト	(1) きいばすに展示設備等を整備	展示・学習
	(2) 交流拠点施設に太陽光LED街路灯を整備	展示・学習
	(3) 公共施設・集会所等に太陽光発電設備・蓄電池を整備	商業 地域振興
②風力発電、中小水力発電等による新産業創出プロジェクト	(1) 河川や農業用水を利用した水力発電の事業化調査・検討	商業
	(2) 風力発電の事業化調査・検討	商業
③太陽光発電によるエネルギーの地産地消プロジェクト	(1) 産業団地等への太陽光発電設備の導入	地域振興
④美浜版 MaaS 構築プロジェクト	(1) 公共交通機関の利便性の向上を図ることを目的とした交通システムを構築	地域振興
⑤美浜町内エネルギー平準化プロジェクト	(1) 町有施設や電気自動車等を活用したVPP(※)システムの構築	地域振興 展示・学習
⑥再エネ等を活用した既存観光スポット、新たな集客施設の魅力づくり推進プロジェクト	(1) 道の駅への太陽光発電設備・蓄電池の導入	商業
	(2) 再生可能エネルギーを活用した電池推進船の導入	商業
⑦美浜版エネルギーツーリズム推進プロジェクト	(1) 「若狭湾次世代エネルギーパーク」を活用したツーリズムの実施	商業
⑧『Made by 美浜』による美浜スマートアグリプロジェクト	(1) 情報通信技術を活用し、農作物をブランド化	商業
⑨スマートコミュニティ拠点整備プロジェクト	(1) 次期住宅団地の一部をスマートタウンとして整備	地域振興
	(2) レイクセンターへの再生可能エネルギー設備の整備による脱炭素化の実施	商業 地域振興
⑩みはまエネルギー基金創出プロジェクト	(1) 各プロジェクトで削減されるコスト等の基金化	地域振興
⑪地域づくりアドバイザー派遣プロジェクト	(1) 再生可能エネルギーを活用した地域づくりのための専門家の派遣	地域振興
⑫「地域共助サービス事業体」による地域のための多彩なサービスの展開プロジェクト	(1) 集落が主体の個別プロジェクトの立案・実施	地域振興
	(2) 個別プロジェクトの実施に向け、関連機関で構成される連携組織の設置	地域振興
⑬町の資源を活用した新燃料等製造・新技術開発研究プロジェクト	(1) 周辺自治体と連携した水素等利活用の実証事業	展示・学習
⑭未来のエネルギー・環境分野を担う人材育成プロジェクト	(1) 「きいばす」を中心とした体験型教育プログラムによる人材育成	展示・学習

※VPP(Virtual Power Plant)・・・エネルギーの供給施設を遠隔制御し、あたかも一つの発電所として機能させ、電力の需給バランス調整を行うこと。

～これらのプロジェクトにより目指すゴール～

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



美浜町はSDGs(持続可能な開発目標)に取り組んでいます。